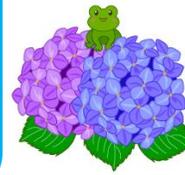


久斗山地区公民館だより



令和2年
6月号

25日発行

久斗山地区公民館

ご挨拶

鬱陶しい梅雨の季節になりましたが、入梅とともに大雨が降ってそれから中休みで晴れて、またざっと雨が降るといったメリハリがはっきりしています。このまま末期に災害の出るような大雨が降らないことを願うばかりです。コロナの感染者も減少し、ようやく移動自粛が緩和されてイベントなどが開催できるようになりました。第2波が懸念されるので予防対策には十分に配慮する必要がありますが、これからまた公民館の行事も開催していきたいと思います。

【今年度初めて公民館行事開催！「ホタルとカエルの夜間観察」】

今月、ようやく今年度初めての公民館行事を開催することができました。地区内外から大人と子ども29人の参加者があり、大盛況となりました。受付時にまず手を消毒してもらい、名簿に名前と連絡先、今日の体調を記入してもらい、できるだけマスクを着用して、コロナウィルスの感染対策にも心がけました。

午後6時半に開会、暗くなるまでの時間、体育館でホタルとカエルの種類や見わけ方についてレクチャーしました。午後8時前に外に出て、夜間観察に出発。まず大杉神社のヒメボタルの生息地に行きましたが、発生には少し早いようでした。アマガエルやモリアオガエルの声を聞きながら田んぼ中の道を歩き、宮谷川にかかる橋の付近から多くのゲンジボタルが飛び始めていました。田んぼの近くからはヘイケボタルも見つかりました。オタマジャクシからカエルになったばかりのシュレーゲルアオガエルも多くいました。川の近くではカジカガエルの鳴き声も聞かれ、明かりを全部消して、しばらく飛びかうホタルと空の星に見惚れていました。ほぼ予定どおり午後9時過ぎには閉会しました。

今年は梅雨前にいい天気が続いたため、ホタルの発生が少し遅れているようです。まだ今月いっぱいゲンジボタルやヘイケボタルは見れます。また、7月になればヒメボタルも発生してきます。蒸し暑い夜、夕涼みがてらにホタル観賞はいかがですか？



ゲンジボタル



ヘイケボタル



シュレーゲルアオガエル



モリアオガエル



【ラッキョの処理作業、境の皆さんご苦勞様】

鳥取砂丘の近く、鳥取市の福部では5月下旬から6月下旬にかけてラッキョの収穫期です。甘酸っぱくて美味しい酢漬けに使われるのは、根本の鱗茎とよばれる丸く膨れた部分です。砂地の畑から引き抜かれたラッキョは、根と茎から葉の部分がついており、それらを切り取る作業があります。

境地区の皆さんは、5月20日ごろより福部の農家からラッキョの処理作業を受けて、谷岡さんとこの車庫で作業に忙しくされていました。処理前のラッキョはコンテナ一箱に約8kg入っていて、それを包丁の刃を上にして取り付けた専用の台で、根と茎を切り落します。一人が一日に30~50kg、多い人は60kg以上も…処理が終わったラッキョは夕方には持っていき、帰りに次の日の仕事分を乗せて帰ってくるそうです。約1ヶ月ほどの期間ですが、皆さんご苦勞様です。



黄色いコンテナ一箱が約8kg

包丁の刃を立てた専用台（右下）



【けっこうしぶとい、キュウリの害虫にご用心】

キュウリにカボチャ、そしてスイカにメロン。これから夏に向けて、これらウリ科の野菜が美味しい季節です。しかし、この野菜の葉にたかって食べる害虫が、ここに紹介するハムシの仲間です。虫の形はよく似ていますが、色が違う3種、まず黄色いのがウリハムシ、黒いのがクロウリハムシ、そして白地に黒斑があるのがアトボシハムシです。葉っぱを穴だらけにします。殺虫剤のマラソン乳剤を散布すると、少しは効果がありますが、しばらくするとまた、たかります。しづとい!



上からウリハムシ、クロウリハムシ、アトボシハムシ

【最近流行りの夏野菜、スッキーニ】

カボチャの仲間ですが、ツルが長くなりません。実はキュウリのように細長く、20cmほどに伸びたら、収穫します。花は朝早くに咲き、最初から雌花が多く出てきます。受粉しないと実が大きくなるないので、雄花が咲いていたら、人の手で受粉させます。油との相性が良く、輪切りをソテーにすると美味しいです。



【遊具の周辺、草刈りしました】

今月の初め、旧保育園の遊具の周りやグラウンドの周囲の草が伸びていたので、草刈りをしました。鉄棒に滑り台、ブランコなどの遊具は、久斗山へき地保育所があった頃のものですが、まだ健在で、子供たちが遊ぶ姿が度々見られます。しかし、なかり年数も経過しており、今後は安全性に十分な配慮が求められます。ケガしないでね～。



○令和2年 7月の行事

- 5日(日) 旧久斗山小学校周辺草刈り作業(6:30～)
- 12日(日) 畑ヶ平林道と滝ハイキング(9:00～15:00) 上山高原エコミュージアム
- 18日(土) 資源ゴミ回収(7:00～8:30)久斗山青推協・地区公民館
- 18日(土)～19日(日) 上山高原キャンプ(18日12:30～19日11:00) 上山高原エコミュージアム



県立兎和野高原野外教育センター
「森のニッチな生き物教室」

○とき: 令和2年7月11日(土)13:00～12日(日)12:00
○集合場所: 兎和野高原野外教育センター
○募集人員: 先着20名
○参加費: 1泊2日(夕、朝食付き) 18才以上6,000円・以下5,000円 日帰り(7月11日のみ) 昼の部500円・夜の部500円
【申込方法】申込書に必要事項を記入の上、郵送・FAX。申込確認後に参加費の納入方法をお知らせ
【申込締切】令和2年6月30日(火)
【申込先】県立兎和野野外教育センター「ニッチな生き物」係
TEL: 0796-94-0211 FAX: 0796-94-0212
E-mail: info@uwano.jp



ドクダミの花

今月の野草
ドクダミ

ハート型の葉っぱと、白い四枚の花びら(本当は花弁ではなく総苞片)のついた花を咲かせます。昔からよく知られた薬草で、名の由来は「毒を矯める」から来ています。漢方名も「十薬」と呼ばれ、十の薬効があるとか。人の役にたつ野草ですが、畑に生えてくると、地下茎が地中を伸びて厄介もので、抜いてもすぐ伸びてく

かかってに昔話
熊に育てられた娘 (第三話)
作、いっこう

十年近い歳月が流れた頃、深山に猟や山菜取りに行った人々の間に、熊の背にまたがる異形の獣の噂が流れました。
「俺は若い頃から深山に入って猟をしてきたが、あぎゃくな獣を見たことがね。すばっしっこい猿みてゝで、一瞬しか見なんだが、体は泥をぬりたくったように真っ黒で、頭から背にかけて長い毛が生えとった」とは、猟師の茂平さんの話です。そして、ついにその正体が明らかになったのです。
その年は冷夏で、山の木の実は農作物も不作で、山の獣だけな村人も餓えていました。晩秋には村の家々が度々獣に襲撃されるようになり、村の猟師は、前の晩に獣が入った納屋に、芋を餌にくくり罠を仕掛けました。朝、見に行くと、そこには見たことがない獣が罠に掛っていました。背を丸めて四足になり、近づいた村人もものすごい形相で威嚇します。処置に困った猟師は、長い柄がついた槍で獣のすきをみて胸を一刺しました。
動かなくなった獣をつかみあげた猟師は、獣の顔が人の顔に見えて、思わず悲鳴を上げました。村人も集まってきて、水をかけて獣を洗うと、汚れの下から白い肌と、そのわき腹に赤い花びらのような痣が現れたのです。
「はな？この痣ははなと一緒。そうよ、はなよ！」一人の女が、そう叫ぶと獣に抱きつき泣き叫びました。集まった村人の中に十年ほど前に我が子を神隠しで失った母親がいたのです。子どもにははなと名付けました。(おわり)